

鳥羽市議会議長

木下順一 様

住所 鳥羽市国崎町319番地
議員名 世古 安秀

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

鳥羽市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項に基づき、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入 政務活動費 156,000円

2 支 出

(単位:円)

科目	金額	
調査研究費	45,090	内閣府地方創生推進事務局、 神奈川県箱根町視察
研修費		
広報費	110,910	世古やすひでだよりNo.19印刷、 新聞折込代、ホームページ管理料
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務費		
合計	156,000	

3 残 額 0 円

支 出 伝 票

使途項目	調査研究 費
支出金額	45,090 円
支出年月日	令和5年1月30日(月)～令和5年1月31日(火)
使途内容	視察(内閣府地方創生推進事務局、 神奈川県足柄下郡箱根町)
領収書・その他証拠書類	
<input checked="" type="checkbox"/> 裏面添付 視察先、内容等は様式3 視察研修報告書を添付	
支出先	公共交通機関、宿泊先施設
按分率等	
備考欄	

研 修 視 察 旅 費 伝 票

報 告 者	世古安秀						
視 察 者 氏 名	瀬崎伸一、河村孝、山本哲也、木下順一 浜口一利、世古安秀、坂倉紀男						
視 察 先	1月30日（月）内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 内閣府地方創生推進事務局 1月31日（火）神奈川県箱根町						
視 察 日	令和 5 年 1 月 30 日 ~ 5 年 1 月 31 日						
概 算 額	45,090 円		精 算 額	45,090 円		差 引 額	0 円
発 着	路 程	路 線	運 賃	特別急行 料金	日 当	宿泊料	
鳥羽 ~ 名古屋	120.3 km	近鉄(往復)	3,500 円	2,680 円	2,000 円 × 2 日	12,000 円 × 1 夜	
名古屋 ~ 東京	366 km	JR(閑散期)	6,380 円	4,720 円			
東京 ~ 国会議事堂前	2.8 km	東京地下鉄	170 円	円			
国会議事堂前 ~ 新宿	5.1 km	東京地下鉄	170 円	円			
新宿 ~ 小田原	82.5 km	小田急電鉄	900 円	円			
小田原 ~ 箱根湯本	6.1 km	箱根登山鉄道 (往復)	720 円	円			
小田原 ~ 名古屋	282.1 km	JR(閑散期)	5,170 円	3,730 円			
概 算 額							
精 算 額			17,010	11,130	4,000	12,000	
旅 費 合 計	45,090 円						

(鳥羽発着 950 円)

視察研修報告書

令和5年2月1日

日 時	令和5年1月30日（月）～1月31日（火）
氏 名	世古安秀
視 察 名	(1)「企業版ふるさと納税について」 (2)「ふるさと納税について・ふるさと納税自動販売機について」
視 察 先	1月30日（月）内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 内閣府地方創生推進事務局 1月31日（火）神奈川県箱根町
説 明 者	内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 内閣府地方創生推進事務局 塗師木太一 参事官補佐、小林真之 様 箱根町 石川茂樹 総務部財務課長、鈴木貴子 総務部財務課財務係長、 浅井貴博 総務部財務課財務係主事、岩田修一 議会事務局長
目的・内容	(1)「企業版ふるさと納税について」 (2)「ふるさと納税について・ふるさと納税自動販売機について」
成果・所感	別紙添付

資料別添付

成果・所感

1、「企業版ふるさと納税について」 内閣府地方創生推進事務局

企業版ふるさと納税は、新たな民間資金の流れを巻き起こし、地方創生の取り組みを進化させることを目的として平成 28 年度に創設されました。また令和 2 年 10 月には寄付と合わせて専門的な知見を有する企業の人材を地方公共団体が受け入れることを促進するため、「企業版ふるさと納税版(人材派遣型)」が創設されています。

(活用事例集より)

担当職員の質疑応答などの中で以下は参考になることをあげました。

- ①議員は役人が持っていないネットワークを持っているので、企業へのアプローチは市長や幹部とともに議員も進めるべきである。
- ②熱心にされているところとしていない市町村の差が出てくる。
- ③鳥羽市の魅力を企業に売り込んでいく事が大切。
- ④委員から現物でもいいかとの質問に、担当者は物品でも ok です。例えば救急車を寄付をしたということもあります。
- ⑤マッチング会のイベントに参加をしている企業は非常に興味がある。
- ⑥ふるさと納税の寄付金額の上限は無い。
- ⑦官民連携で地方創生を行っていただきたい。

所感 このたびの視察は担当職員との意見交換の中で、鳥羽市としても非常に参考になる意見が多かった。またふるさと納税企業版の活用事例集を参考にしながら進める必要がある。今回の視察では市長のトップセールスはもちろんのこと、ネットワークのある議会議員の方でもトップセールスを行っていく必要を痛感しました。

2.神奈川県箱根町「ふるさと納税について、ふるさと納税自動販売機について」

- ① 箱根町の世帯数は令和3年の末で6,368世帯、人口は10,926人となっている。そのなかで、観光客の入込数は年間1,200万人とすごい数字になっている。温泉の魅力と関東圏から近いのも魅力的である。
- ② ふるさと納税自動販売機はふるさと納税の手続きができる自動販売機でふるさと納税をしたその場で返礼品を受け取ることができる。すぐに欲しいもの、その場で使えるもの(利用券)との親和性が高い。
- ③ 導入の経過は、グローキーアップが数年前に売り込みに来た。その後 神奈川県 の事業で県と箱根小涌園がグローキーアップとマッチングをした。
- ④ 導入実績 設置場所「箱根小涌園ユネッサン」で水着で入れる、温泉のテーマパーク。ウォータースライドやワイン風呂、緑茶風呂など、様々な温泉が楽しめる。
- ⑤ 寄付実績 令和4年4月21日から令和4年12月末までの実績は件数280件で寄付金額8,956,000円。
- ⑥ 取り扱っている返礼品 ・箱根小涌園館内利用券で寄付額10,000円が多い。ユネッサンだけでなく、系列の旅館でも使える館内利用券 ・ユネッサンペア招待券 寄付額24,000円。 ・三河屋旅館ペア宿泊招待券 寄付額16,700円
- ⑦ 費用負担 町の負担 システム開発費用(340万)、返礼品代、システムの利用料、事務委託料、決済手数料、設置場所へのお礼
箱根小涌園ユネッサン 自動販売機リース料 電気代、インターネット通信料

所 感 箱根町のふるさと納税自動販売機の設置については先進的な事例として注

目されます。鳥羽市も現在チョイスペイ、さとふるペイなどでスマホからのふるさと納税を進めていますが、スマホを使えない人たちがこの自動販売機で納税をできると言うことは利用者にとっては納税をしやすいカテゴリーとなる。

鳥羽の大規模な宿泊所に何台か設置すればふるさと納税の増加は見込めると考える。ぜひ取り入れるべきである。

様式1

支 出 伝 票

使途項目	広報費 費
支出金額	85,514 円
支出年月日	令和5年1月20日（金）
使途内容	世古やすひでだよりNo.19発行。印刷、新聞折込代
領収書・その他証拠書類 <input checked="" type="checkbox"/> 裏面添付	
支出先	南勢印刷
按分率等	
備考欄	

領 収 証

No. _____

鳥羽市議会議員
世古 安彦 様

R5 年 1 月 20 日

金 額						円
			8	5	5	14

但し 議員活動特報書 No.19 印刷・新聞代
上記の金額正に領収致しました (世古様へお送り)



内 訳	
現金 /	✓
小切手 /	
振 込 /	

DTP・オフセット・デジタル印刷

南 勢 印 刷

〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽4丁目3-3
TEL (0599) 25-2739
FAX (0599) 25-4523



世古やすひで どり



発行責任者 鳥羽市議会議員 世古やすひで 鳥羽市国崎町319 ☎ 0599-33-6561

自主財源の確保にふるさと納税倍増は

市長常に増やす努力はしており 真欲に考えたい!

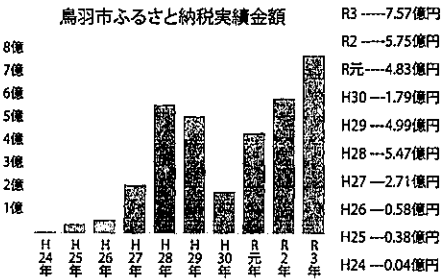
令和4年11月30日の本会議で「ふるさと納税の推進強化策」、「佐田浜及び鳥羽駅周辺の駐車場不足対策」、「相差町池地区の冠水対策」の3件について一般質問しました。

「ふるさと納税」の推進強化策について

鳥羽市は人口減少も少子高齢化、「コロナ禍」での観光経済の低迷などにより財政難が危惧されている。自主財源の確保のためにふるさと納税事業に力を入れるべきである。

質問 これまでの実績は

企画財政課副参事 令和3年度が1万2000件で1億



質問 専任には観光客や離島住民からのもよみが増えているのか
市長 今、駅前が大変になっているという情報が観光スタッフの方から入っている。詳細については、

「質問」佐田浜及び鳥羽駅周辺の駐車場不足対策について
観光客や離島住民の駐車スペースの確保は、観光客誘致や住民の生活の利便性を守るためには大変重要である。

離島住民の願い 佐田浜駐車場料金の軽減を要請!

「これまでの市部局担当者委託先の観光協会」の努力に感謝と敬意を表します。

5万2000円000円であり、過去最高額です。(左下の写真参照)

質問 自主財源として使えた額は何割くらいになるのか
企画財政課副参事 寄附額の約3割が使えた額になっています。

質問 返礼品の入手でマイスリーは
企画財政課副参事 1位が真珠製品で、全体の約4.5%。2位が宿泊園遊券等の

クーポン、券等での0.5%第3位が力キなどを使った加工品で、12.3%を占めています。

結婚30周年の真珠婚記念に真珠を贈る取り組みを進めるとともに、更に「世界ブランド」ミキモトパールのみキモトと連携を強化していただきました。



情があることは聞いております。佐田浜駐車場については市開発公社の経営であるが、多くの離島住民から声が寄せられている。令和2年8月から基本料金の1日の上限が4千円から2千円になり、令和

4年10月から月極定期料金が1万円から8千円に引き下げられたことは、様々な経営努力がされていると評価をした。しかし、離島住民より「月極を月3千円にして下さい」という要望書が署名も添えて開発公社の理事長(市長)にも届けられている。国民年金で生活している人や、高齢者には、月8千円という金額が大変な負担になっています。そのことも含め、今後開発公社の経営改善を図りながら、住民の願いに応えるよう駐車場料金の軽減を強く要請しました。カーシェアリング活用の周知も要望しました。



また、JA伊勢の鳥羽地区で生産している特別栽培米の「珠光(たまひかり)」は、減農薬と減化学肥料の特色ある方法で栽培されています。真珠の珠を光るといってことで、真珠製品とセットにした返礼品として、活用していただきたいと思います。

企画財政課副参事 令和2年11月からふるさと納税払いチャイムPayのサービスを開始しています。また、PayPay商品券を追加導入に向けて調整も始めています。

質問 ふるさと納税倍増を目標に、夢のある事業を進めていくという考えはあるか
市長 倍増がいいのか、3倍がいいのかは別として、常に増やす努力はしており、真欲に考えたい。

迎春 志摩の国最東端の国崎(せき)からの初日の出です。↑





11月23日の池中の冠水状況

相差町池中地区の今後の冠水対策は 市長 排水ポンプパッケージの導入を 令和6年度に位置づけていきます！

三問目「相差町池中地区の冠水対策」について、本年9月11月の豪雨により、相差町池中地区において三度にわたる冠水を行いました。地区住民は、度々の被害に困っております。この問題については、三年前の令和元年12月9日に一般質問をいたしました。しかしその後は進んでいない。再度、今後の対策について伺います。

排水ポンプパッケージ、ホーム照明灯がセットになった排水ポンプパッケージの導入を令和6年度に位置づけております。(事業費2,400万円で一般財源を予定)

2400万円の事業費

ただし、今の排水経路のボトルネックになっている箇所や適用面等の課題も検討し、効果的な排水手法を最終決定していくべきと考えています。本年10月20日と11月20日に政策調整会議を開催し、令和5年度に調査業務を実施するよう指示をしました。

令和5年度に調査

市長大きな決断をいたしました

市長は大きな決断をいたしました。ようやく動き出したという実感が湧きます。大雨が降ったらその雨がどこから池中入られるのか、分水筋については地元の年配の



(市道の通行止め場所)

人たちが一番知っています。調査に地元の人々の知恵も借りて進めていただきます。

排水路の幅がこれだけの、か、池中や水路の泥の浚渫(じゆんせつ)をJTBの等々の調査をし、今後の冠水対策の解決に繋げていただきます。

鳥羽の輝きを創ります!!

世古やすひでが目指すこと

- ①市民の夢をかなえるために、ふるさと納税で自主財源を生み出す。旅行先からふるさと納税が得られる制度を推進し水産、観光、土産物業を活性化。
- ②若者の声を市政に活かすために、高校生議会を開催。提案した事業を実現するために事業費も算を確保します。
- ③若年寄りや地域の人々が健康で安心して暮らせるために、オンライン移動診療車の導入を進めます。
- ④離島住民や市民の生活を守るために、佐田浜駐車場料金の優待を推進します。
- ⑤「天の半分を支える女性」の声を聞くために、地区別、

女性だけのネットワークを創る。

- ⑥人口減少対策で婚活をすすめる、出逢いの場を創る。
 - ⑦ふるさと納税の返礼品に実家や暮らす親の見守り、実家の空き家の見守り(声の仲間)、お墓掃除などの見守りを地域の人が行う。市は委託料を支払い費用を生み出す。そのことにより親元を離れている子ども孫の心配を軽減する。その仕組みづくりを進めたい。
 - ⑧子どもは鳥羽の歴史、郷土の歴史や文化を守り郷土愛を育む。児童生徒の学力向上に子育て支援。
 - ⑨漁場の再生や鮑の増殖のため稚貝放流をすすめます。漁業と観光の連携を図り、基幹産業の観光業を支援します。
 - ⑩鳥羽市の玄関口の魅力向上のため、パールビル跡地の再活用に取り組めます。
- 今後、この事業を市民にとって最優先に取り組みますが、市民や議会と相談しながら進めていきます。



最後に計画的にこの事業を進めていただきたいと要請しました。
↑鳥羽マルシェ前のマンホール写真

第2段が決定!
 鳥羽市キャッシュレス決済推進事業
 とば得キャンペーン
最大 20%還元!!
 期間中の還元額上限:各社5,000円(相当)
 ・1回の決済あたり1,000円を上限
 キャンペーン期間:2023.2.1①~2.28②
 担当:鳥羽市商工課(25-1156)

第一弾は市内事業所や市民に大好評であり、市の担当課は市民の皆さんの熱望に応えたい。

編集後記
 議員新年
 これまで世古やすひでへのこの温かい声援に深く感謝申し上げます。
 今後引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

1月2日に鳥羽商工会議所かもめホールで開催されました「市民新春交歓会」での中村正人商工会議所新会頭の挨拶が素晴らしいので紹介いたします。

「商工会議所創立60周年にあたり、これから60年のことです。①チャレンジ挑戦のチャレンジ②「ウオパレ」イノベーションでやりたいこと」この言葉は心に響きました。私も新年早々にこの言葉を胸に刻んで、これからの活動を進めていきたいと思っております。
 (本紙世古やすひでより、後援会の討議資料より)

支 出 伝 票

使途項目	広報	費
支出金額	25,396	円
支出年月日	令和5年3月9日(木)	
使途内容	世古やすひでホームページ管理料	
領収書・その他証拠書類		
<input checked="" type="checkbox"/> 裏面添付	令和4年4月～令和5年3月 ホームページ管理料	26,400円
	合計	26,400円
	うち政務活動費	25,396円
	自己負担	1,004円
支出先	有限会社 えんじゅ	
按分率等		
備考欄		

領 収 証 世 古 安 秀 様

No. _____

金額

		7	2	6	4	0	0	-
--	--	---	---	---	---	---	---	---

内 訳	
現 金	✓
小 切 手	/
手 形	/
消費税額等(%)	
消費税額等(%)	

但 R4.4~R5.3. 正-UN-³管理料
R5年 3月 9日 上記正に領収いたしました

〒517-0021 三重県鳥羽市安楽島1031-100214
TEL 0599-25-0105 FAX 059-323-3623

有限会社 え 

収入印紙

登録番号 _____